

議会だより

発行：行方市議会〒311-3512 行方市玉造甲 404 編集：広報委員会

令和8年1月

第1回
臨時会

令和8年3月

第1回
定例会



キラキラの新1年生

4月7日、市内の小学校で入学式が行われました。初めての教室、自分の席で、先生の呼びかけへ元気にお返事をしていました。

(玉造小学校)

Contents

- 第1回（3月）定例会……………p.2～9
- 第1回（1月）臨時会…………… p.10～11
- 一般質問…………… p.13～17
- 議会トピックス…………… p.18
- 委員会レポート…………… p.19
- 市民の声・議会日誌・議会トピックス… p.20

令和8年 第1回臨時会・第1回定例会

あ
ら
ま
し

- ◆第1回（1月）臨時会は、1月30日に開催され、報告1件、補正予算を含む議案3件が市長から提出されました。審査の結果、原案のとおり可決・承認されました。
- ◆第1回（3月）定例会は、2月19日から3月19日までの29日間にわたり開催され、令和8年度予算をはじめ、条例の改正や補正予算など22件が市長から提出されました。また、一般質問では8名の議員が登壇し、市の方針等を質しました。臨時会及び定例会の審査の経過・結果については、次ページ以降をご覧ください。

第1回定例会 令和8年度施政方針及び提案理由の説明（一部抜粋）

令和8年度の重点施策として、7つの取組を行います。1「安心の地域医療体制の再構築」健康・福祉のまち、2「徹底した教育・子育て環境の整備」子育てに投資するまち、3「過疎抑止につながる地域経済の活性化」産業・農業を支えるまち、4「誰もが輝き、ともに生きる社会」共生・多様性が息づくまち、5「にぎわいと自然が調和する」観光・共生のまち、6「市民の命と暮らしを守る防災・減災」災害に強いまち、7「快適で暮らしやすいまち」交通・行政のデジタル化の強化や市民サービス向上に向けた7つの取組です。将来の予測が難しい今日、まちづくりは挑戦の連続です。私たちは、日々新たな課題と向き合い、今の暮らしをよりよく、そしてよりよい未来につなげていくために挑戦を続けていかなければなりません。私は、市民の皆様お一人お一人の声を大切に、共に課題を解決しながら、住み続けたいと思えるまちづくりの実現に向け、全力で取り組んでまいります。



第1回臨時会の経過

※議案の内容は10ページ

1月30日(金)

【本会議】開会

会期の決定

諸般の報告

議案の上程

提案理由の説明、質疑

委員会付託

【経済建設委員会】

付託案件の審査

【予算決算常任委員会】

付託案件の審査

【本会議】委員長報告、質疑

討論、採決

閉会

第1回定例会の経過

※議案の内容は次のページから

2月19日(木)【議会運営委員会】

【本会議】開会

会期の決定、諸般の報告

議案の上程、提案理由の説明

24日(火)【本会議】一般質問

26日(木)【本会議】一般質問

3月2日(月)【本会議】議案質疑、委員会付託

3日(火)【総務委員会】付託案件の審査

4日(水)【教育厚生委員会】付託案件の審査

6日(金)【経済建設委員会】付託案件の審査

9日(月)【予算決算常任委員会】付託案件の審査

11日(水)【予算決算常任委員会】付託案件の審査

12日(木)【予算決算常任委員会】付託案件の審査

13日(金)【予算決算常任委員会】付託案件の審査

19日(木)【議会運営委員会】

【本会議】委員長報告

質疑、討論、採決

閉会中の所管事務調査

議員の派遣

閉会

令和8年第1回行方市議会定例会 付託案件の審査

審査の内容を一部抜粋してお伝えします。議決結果は9ページをご参照ください。

総務委員会

Q 行方市職員の給与に関する条例及び行方市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について

A 令和7年人事院勧告及び茨城県人事委員会勧告に準じ、職員及び一般職の任期付職員の特別給の改定、通勤手当の見直しを行うほか、昇給基準の見直しを行うなど、所要の改正を行うもの

Q 人事院勧告等に準じ市で改正する理由又は目的について

A 人事院の調査において、民間企業の55歳以上の昇給は停止している所が多いことから、国家公務員も55歳以上の昇給停止を勧告され、地方公務員もこれに準じ改正を行うものです。

Q 人事院勧告に強制力は無いと思うが、行方市の今までの対応は

A 基本的に人事院勧告に準じた改正を行っています。

Q **A**

行方市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び行方市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する条例について

令和7年人事院勧告及び茨城県人事委員会勧告に準じ、職員の特別給改定を行うことに伴い、市長、副市長及び教育長の期末手当の支給割合を改定するため、所要の改正を行うもの

Q 現行の期末手当の支給月数が均等でない理由について

A 基本的には同じ月数ですが、前回の改正時に、実務上の理由により不均等となっていました。今回、それを是正し均等化するための改正となっています。

Q **A**

行方市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例及び行方市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について

令和8年度開通予定の東関東自動車道水戸線行方インターチェンジ至近に位置する北浦複合団地への企業誘致を強力に促進させるため、同団地内において事務所等を新増設した場合の当該固定資産税の課税免除期間を従前の3年度分から5年度分に充実に定めるなど、所要の改正を行うもの

Q これまでの実績は

A 行方市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例での適用は、8社。行方市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例での適用は、1社となっています。

Q 対象業種の取得価格要件はどのように決めたのか

A 本市が独自につくったものではなく、上位法に基づいた要件区分となっています。



教育厚生委員会

Q A
行方市介護保険条例の一部を改正する条例について

令和7年度税制改正における保険料の収入不足を防ぐための対応として、介護保険法施行令（平成10年政令第412号）が一部改正されたことに伴い、令和8年度の保険料率の算定に関する所得の額の算定方法及び基準の特例を設けることについて、所要の改正を行うもの

Q 想定金額はどのくらいか

A この改正により影響を受ける金額は、厚生労働省の推計では、保険料収入の1%程度としています。本市の令和6年度保険料収入で試算すると、803万3千24円の減となる見込みです。

Q A
行方市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

国民健康保険税の算定において、これまでの基礎賦課額、後期高齢者支援金等課税額及び介護納付金課税額に、新たに「子ども・子育て支援納付金課税額」を加えるほか、国民健康保険法施行令（昭和33年政令第326号）の一部改正に基づき、保険税負担の公平性の確保及び中低所得者層の負担に配慮した国民健康保険税を可能とするための課税限度額の見直し、国民健康保険税の減額の対象となる範囲の拡大など、所要の改正を行うもの

Q 国民健康保険税の課税基準は県内で統一性があるのか

A 新たに加える「子ども・子育て支援納付金課税額」は、国による統一した形での改正となります。国民健康保険税の税率については、市町村ごととなっています。

▼行方市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について

令和7年度税制改正による関連法令の改正に伴い、医療福祉費制度の改正が行われたことから、所要の改正を行うもの

Q A
行方市印鑑条例の一部を改正する条例について

電気通信事業法及び日本電信電話株式会社等に関する法律の一部を改正する法律（令和7年法律第46号）の施行に伴い、引用する条項を整理するため、所要の改正を行うもの

Q 条例改正をしない場合、どのような不都合が起るのか

A 今回の改正により、実務上の混乱を防ぎ運用の明確化を図れます。改正をしない場合、印鑑証明書を交付することはできませんが、市民を混乱させてしまう可能性があります。



印鑑証明書も発行できるマルチコピー機

行方市中小企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例について

融資保証あっせん期間の最長限度を7年間から10年間へと延長し、中小企業者の資金繰り安定に資するため、所要の改正を行うもの

市内の対象事業者数及び今までの実績について

市内の商工業を営んでいる中小事業者数は、1314事業所です。融資あっせん実績は、令和4年度28件1億5710万円、令和5年度28件1億6145万円、令和6年度29件1億9010万円、令和7年12月末現在12件1億1270万円です。

融資保証あっせん期間の最長期間を延長する理由は

国や県が創出する融資制度、具体的には経営力強化保証や協調支援型特別保証、パワーアップ融資などの返済期間が10年と設定されており、県内市町村が推進する自治金融制度等についても、中小企業の利便性を図る観点から改正の決定がされました。

本会議の内容を知りたい 「行方市議会 会議録検索システム」

本会議の内容は、なめがたエリアテレビや、インターネット録画中継でもご覧になれますが、会議の公式記録は会議録となります。会議録は、インターネットにて**全文を確認できます**。

市議会ホームページで「会議録」を選択してください。



～ 議会へ請願・陳情される方へ ～

請願・陳情とは、市民が市政についての要望や意見を直接「議会」に提出する方法です。

- ※ 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に分かりやすく書いてください。
- ※ 提出年月日、請願（陳情）者の住所、署名又は記名押印してください。
- ※ 請願書は、1人以上の紹介議員が必要で、表紙に自筆による署名又は記名押印が必要です。
- ※ 紹介議員が見つからないときは、陳情書としてください。
- ※ 提出方法については、議会事務局へお問い合わせください。

（表紙例）

〇〇〇に関する 請願（陳情）書	
紹介議員 署名又は 記名押印	印

（内容例）

〇〇〇に関する請願 （陳情）	
1. 要旨	
2. 理由	
令和 年 月 日	
請願（陳情）者の住所	
署名又は	
記名押印	印
行方市議会議長	殿

予算決算常任委員会

あらまし

提出された各計画（新市建設計画、行方市過疎地域持続的発展計画の変更について、各会計の補正予算、令和8年度の一般会計予算、各特別会計予算及び事業会計予算については、予算決算常任委員会で審議されました。市政全般にわたって多くの質疑がありましたので、その審査経緯を掲載します。

令和8年度一般会計予算は 209億3千万円

【前年度比3.7%増】

予算編成の概要

令和8年度の一般会計予算については、社会保障関係費、扶助費、人件費の増加や物価高への対応、公共施設等の老朽化への対応等、全国的な課題に対応しつつ、本市の重点課題である通学路や幹線道路整備、東関東自動車道の行方PA（仮称）に隣接する地域振興施設整備等について、合併特例債や過疎対策事業債、基金などを活用しながら推進するとともに、麻生衛生センター改修工事など大規模な公共構造物の整備更新費用及び物価高に伴う光熱水費などの経常経費の増加による予算の確保を行いました。

令和8年度の各予算

会計名	令和8年度	令和7年度	前年度比(%)
一般会計	209億3,000万円	201億9,000万円	3.7
国民健康保険特別会計	45億7,000万円	45億9,200万円	△0.5
介護保険特別会計	37億1,600万円	37億8,100万円	△1.7
後期高齢者医療特別会計	6億5,100万円	5億3,400万円	21.9
水道事業会計	13億7,179万6千円	15億1,182万3千円	△9.3
下水道事業会計	15億627万5千円	15億1,877万9千円	△0.8
合計	327億4,507万1千円	321億2,760万2千円	1.9

歳入

区分	本年度予算額	前年度比(%)
市税	43億4,997万7千円	4.4
分担金・負担金	211万1千円	△91.3
使用料・手数料	1億1,917万1千円	△8.2
財産収入	1億320万6千円	31.6
寄附金	8億110万円	△20.0
繰入金	18億8,978万6千円	△14.7
繰越金	2億円	0.0
諸収入	2億4,551万4千円	△29.8
譲与税・交付金	14億2,410万円	6.3
地方交付税	58億2,020万円	3.4
国庫支出金	29億1,355万5千円	28.7
県支出金	14億3,088万円	2.5
市債	16億3,040万円	16.8

歳出

区分	本年度予算額	前年度比(%)
議会費	1億5,706万7千円	0.5
総務費	42億4,965万8千円	△5.5
民生費	59億1,338万8千円	5.8
衛生費	19億9,243万4千円	△4.5
農林水産業費	7億2,009万1千円	△13.2
商工費	3億5,710万2千円	76.6
土木費	21億5,831万5千円	9.1
消防費	10億216万2千円	4.4
教育費	24億8,112万8千円	22.2
災害復旧費	1,000万3千円	0.0
公債費	17億7,192万4千円	1.8
諸支出金	8,672万8千円	20.5
予備費	3,000万円	△21.7

新市建設計画の変更について

新市建設計画を変更することについて、市町村の合併の特例に関する法律（昭和40年法律第6号）第5条第7項の規定により、議会の議決を求めるもの

庁舎の今後について

財政的な問題、行政課題を踏まえて様々な可能性を精査しながら前へ進めていきます。現庁舎の活用が前提ですが、耐震診断等を行った上で柔軟に対応していきたいと考えています。

計画期間が5年の延長となるが、内容の周知について。広報活動の今後の取組は

計画書の実行内容を明示するなど、分かりやすく市民へ情報を伝え、ビジョンを共有できるように広報を行っていきます。

行方市過疎地域持続的発展計画の変更について

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（令和3年法律第19号）第8条第10項において準用する同条第1項の規定により、議会の議決を求めるもの

予算編成の審査

定額タクシー運行業務委託料

財源および運行範囲について

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の事業となります。令和8年度より市外への運行も開始し、料金は2千円を予定しています。ただし、市外へ運行するには関係団体の同意が必要であり、現在、鹿嶋・潮来・銚田の団体には了解を得ています。その他については、引き続き交渉を行っていきます。

外来水生植物侵入防止用原材料購入

対象植物と実施内容について

ナガエツルノゲイトウが対象となります。令和8年度は、5つの土地改良区において侵入を防止するネットフェンスを設置する予定です。

入学時等支援金・高校生通学支援金支給事業

距離的制限等を設ける検討は行ったのか

支援金は3万円を予定しています。支給要件として所得制限や距離などの協議を行いました。しかし、通学方法に関して多様な交通手段がありますが、公平性を保つために、高校へ進学する方すべてに支援をする予定です。

オンライン医療相談システム使用料

事業の内容について

妊婦およびゼロ歳児から15歳（中学生）までの子どもがいる世帯を対象に、救急時の医療をはじめ、発達相談や心の相談、産後うつなどの相談を想定しています。相談員は専門的な知識を有する医師等となっています。

電子図書館構築委託料、電子図書ライセンス使用料、電子図書館システム使用料

電子図書の具体的な利用方法は

電子図書の利用方法として、いつでもどこでも誰でも閲覧可能な形を目指しています。ターゲットはタブレットを持っている小中学生を考えていますが、一般向けには雑誌をメインとした普及を行いたいと思っています。電子図書の貸出対象は、市内在住・在勤を考えています。

東関東自動車道水戸線開通イベント事業費補助金

東関東自動車道水戸線の進捗状況は。また、開通イベントについて

国の公表では、令和8年度全線開通見込み、行方インターチェンジまでは令和8年半ばとなっています。開催イベントは、他市での開催実績を参考にしながら、開通に合わせたの実施を予定しています。

各委員会への付託が省略された議案

▼人権擁護委員候補者の推薦について

池畠 正夫（浜）

池畠氏を候補者として推薦することについて、適任であると答申しました。
任期は令和8年7月1日から令和11年6月30日までの3年間です。

▼公平委員会委員の選任について

一条 善恵（小幡）

令和8年3月31日で任期満了となる一条氏を、再度選任することに同意しました。
任期は令和8年4月1日から令和12年3月31日までの4年間です。

令和8年第1回行方市議会定例会 補正された予算(令和7年度)

議案番号	補正額（総額）	主な内容	議決結果
議案第15号 一般会計補正予算 (第8号)	1億6,461万円 減額 (220億3,376万円)	<ul style="list-style-type: none"> 地域振興施設整備調査設計委託料 / △3,550万円 国民健康保険特別会計繰出金 / △2,477万1千円 障害者福祉サービス給付費 / 2,220万円 児童手当 / △8,150万5千円 保育所運営委託料 / 6,225万2千円 施設型給付費 / 7,728万5千円 児童扶養手当 / △2,094万3千円 GIGAスクール構想支援業務委託料 / △5,100万円 など 	原案可決 (全会一致)
議案第16号 国民健康保険特別 会計補正予算 (第2号)	6,617万9千円 (46億5,628万8千円)	<ul style="list-style-type: none"> 行方市国民健康保険支払準備基金積立金 / 6,848万円 など 	原案可決 (全会一致)
議案第17号 介護保険特別会計 補正予算(第3号)	5,027万8千円 (39億6,349万7千円)	<ul style="list-style-type: none"> 介護サービス給付費負担金 / △5,000万円 行方市介護給付費準備基金積立金 / 1億539万9千円 など 	原案可決 (全会一致)
議案第18号 後期高齢者医療 特別会計補正予算 (第1号)	4,271万2千円 (5億7,671万2千円)	<ul style="list-style-type: none"> 保険料納付金 / 4,974万3千円 など 	原案可決 (全会一致)

※補正予算は予算決算常任委員会に付託されました。

〈市長提出議案〉

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	池島氏を適任であると答申	—
議案第4号	公平委員会委員の選任について	原案同意（全会一致）	—
議案第5号	行方市職員の給与に関する条例及び行方市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	総務委員会
議案第6号	行方市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び行方市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	総務委員会
議案第7号	行方市産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例及び行方市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	総務委員会
議案第8号	行方市介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	教育厚生委員会
議案第9号	行方市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	教育厚生委員会
議案第10号	行方市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	教育厚生委員会
議案第11号	行方市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	教育厚生委員会
議案第12号	行方市中小企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例について	原案可決（全会一致）	経済建設委員会
議案第13号	新市建設計画の変更について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第14号	行方市過疎地域持続的発展計画の変更について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第15号	令和7年度行方市一般会計補正予算（第8号）について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第16号	令和7年度行方市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第17号	令和7年度行方市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第18号	令和7年度行方市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第19号	令和8年度行方市一般会計予算について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第20号	令和8年度行方市国民健康保険特別会計予算について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第21号	令和8年度行方市介護保険特別会計予算について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第22号	令和8年度行方市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第23号	令和8年度行方市水道事業会計予算について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会
議案第24号	令和8年度行方市下水道事業会計予算について	原案可決（全会一致）	予算決算常任委員会

経済建設委員会

▼あそう温泉「白帆の湯」、天王崎観光交流センター及び行方市北浦荘の指定管理者の指定について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第24条の2第3項の規定に基づく指定管理者の指定について、同条第6項の規定により、議決を求めるもの

- 1 管理を行わせる公の施設
 - (1)あそう温泉「白帆の湯」
行方市麻生421番地3
 - (2)天王崎観光交流センター
行方市麻生419番地1
 - (3)行方市北浦荘
行方市山田121番地
- 2 指定管理者
東京都港区新橋二丁目16番1号
ニユー新橋ビル434号室
行方市温浴施設マネジメント共同企業体
代表者 株式会社 a l d e n t e
代表取締役 岡田 典幸
- 3 指定期間
令和8年4月1日から令和11年3月31日まで

Q 指定管理者候補者の同様な施設等の運営実績及び施設規模について

A 運営実績と規模ですが、長野県原村「ふれあいセンターもみの湯」。24部屋の宿泊施設で大浴場、露天風呂、サウナ、休憩室、貸切家族風呂が設置されています。また、令和8年1月から東京都武蔵村山市「村山温泉かたくりの湯」。大浴場にプールがついている施設となっています。

Q 協定書における違約金の規定について

A 6か月前までに継続できない旨を申し出た場合、違約金は発生しません。

▼行方市交流宿泊施設の指定管理者の指定について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第24条の2第3項の規定に基づく指定管理者の指定について、同条第6項の規定により、議決を求めるもの

- 1 管理を行わせる公の施設
行方市交流宿泊施設
行方市麻生419番地1
- 2 指定管理者
東京都千代田区丸の内1・8・3
丸の内トラストタワー本館20階
株式会社フレバグループ
代表取締役 藤沼 昇二郎

3 指定期間
令和8年4月1日から令和11年3月31日まで

Q 災害時の活用について

A 業務の要求水準書の中で、災害等で市が施設を利用する場合、指定管理者はこれを一時的に受け入れ、市の指示により防災拠点としての運営、避難所等の対応をすることを盛り込んでおります。

Q 現在の宿泊料では、施設稼働率が高くなっても経営の黒字化は難しいのではないかと

A 現在の宿泊料で運営していくと、経営は厳しい状況になると考えます。利用料の検討、あそう温泉白帆の湯等と合わせて指定管理とすることにより指定管理料の抑制なども検討していきます。

附帯決議

採決終了後、委員より附帯決議案が提出され、委員会において「行方市交流宿泊施設の指定管理者の指定について」において附帯決議を付することに決しました。

▶付託案件の審査

【附帯決議内容】

行方市が指定管理者の指定を進めるにあたり、温泉「白帆の湯」、天王崎観光交流センター及び行方市交流宿泊施設は、いずれも本市の観光振興、交流人口の拡大、地域経済の活性化を目的とする施設である。しかしながら、三施設を個別に管理運営する場合、それぞれの機能が十分に連携されず、集客力の最大化や相乗効果が十分に発揮されないおそれがある。特に、温泉施設と交流宿泊施設は、利用者の導線やサービス展開を一体的に指定管理者にすることで、指定管理者の創意工夫による民間ノウハウの活用が極めて重要となる。よって市においては、三施設の設置目的を最大限に達成するため、下記について特段の配慮を行うよう強く求める。

記

- 1 指定管理業務の仕様書及び協定書においては、三施設の連携事業として共通予約や導線の整備など、一体的運営を担保する内容を明確に位置付けること。
- 2 指定管理者の選定に当たっては、三施設を連動させた集客施策として宿泊と温泉を組み合わせた滞在観光の企画提案や一体的運営による地域経済波及策など、一体的運営による相乗効果を具体的に提案できる事業者を評価する選定基準とすること。
- 3 管理運営状況の評価に当たっては、施設ごとの利用者数のみならず、市内消費額への波及など、面的な経済効果を把握できる指標の導入に努めること。

予算決算常任委員会

▼専決処分の承認を求めることについて
(令和7年度行方市一般会計補正予算(第6号)について)

令和7年度行方市一般会計に補正(第6号)の必要が生じたことによるもの

▼令和7年度行方市一般会計補正予算(第7号)について

一般会計に補正の必要が生じたので、地方法自治法(昭和22年法律第67号)第218条第1項の規定により、提案するもの

議会メモ： 「附帯決議」とは…

議会又は委員会で、審議される議案の決定に合わせて付け加えられる意見や要望の決議のことです。

法的な拘束力はありませんが、議会又は委員会が決定した内容に付け加える形で、意見や改善案を示すことができます。



令和8年第1回行方市議会臨時会 提出議案議決結果

《市長提出議案》

議案番号	件名	議決結果	付託委員会
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度行方市一般会計補正予算(第6号)について)	原案承認(全会一致)	予算決算常任委員会
議案第1号	あそ温泉「白帆の湯」、天王崎観光交流センター及び行方市北浦荘の指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)	経済建設委員会
議案第2号	行方市交流宿泊施設の指定管理者の指定について	原案可決(全会一致)	経済建設委員会
議案第3号	令和7年度行方市一般会計補正予算(第7号)について	原案可決(全会一致)	予算決算常任委員会

令和8年第1回行方市議会臨時会 補正された予算(令和7年度)

議案番号	補正額(総額)	主な内容	議決結果
報告第1号 一般会計(第6号)	2,379万8千円増額 (215億1,208万5千円)	・衆議院議員総選挙費 / 2,379万8千円	原案承認 (全会一致)
議案第3号 一般会計(第7号)	6億8,628万5千円増額 (221億9,837万円)	・食料品等価格高騰対策支援金給付事業 / 1億9,224万5千円 ・物価高対応子育て応援手当事業 / 7,391万1千円 ・物価高騰対策プレミアム付商品券事業 / 1億8,500万円ほか	原案可決 (全会一致)

スマホで読める！議会だより デジタルブック配信しています

- ブラウザでもアプリでも、スマホやタブレットで読めます。
- 10言語で読めます。
- 音声読み上げもできます。
- 文字サイズを調整できます。

※ブラウザは音声読み上げに対応しておりません。
音声読み上げには無料アプリ（カタポケ）のインストールが必要です。

無料アプリ『カタポケ』
このアイコンが目印です。



行方市の情報をスマートフォンやタブレット、パソコンで！



まちの情報を
電子アプリでお届けします



無料 FREE

カタログポケット
Catalog Pocket

「Catalog Pocket」は
まちのさまざまな情報を閲覧できるアプリです。
アプリ上で登録をすれば
プッシュ通知で確実に情報をお届け。
多言語対応&音声読み上げもできます。



行方市のコンテンツはこちら▶



Catalog Pocket
カタポケ

無料 FREE

iPhone



Android



PCも可

※ PC版はプッシュ通知はありません。

※ デジタルブックの配信は発行日の10日後となります。

市の考えを問います

一般質問

2月24日（4議員）

高木 正 13 ページ

1. 市民生活本位の行政の確立、自立、対応への指針を問う

宮崎 和洋 14 ページ

1. 市長の公約の「初年度 100 日アクション」の進捗の確認

伊勢山 仙寿 14 ページ

1. 農業政策について
2. 少子化対策（出生・子育て支援）について
3. 光ファイバー網の活用について
4. 交通政策について

阿部 孝太郎 15 ページ

1. 未来への投資と持続可能な財政運営について（令和8年度予算）

2月26日（4議員）

高橋 正信 15 ページ

1. 地域医療
2. 農地の活用状況
3. 防災対策

高野 市郎 16 ページ

1. 人口減少
2. 市有財産の処分
3. 霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業について
4. 前川排水区雨水整備事業
5. 市道（麻）1-17 号線

栗原 繁 16 ページ

1. ふるさと応援寄附金
2. 行政業務のデジタル化
3. なめがたエリアテレビ

鈴木 義浩 17 ページ

1. 行方市の財政健全化と今後の財政運営について

8名の議員が登壇し、執行部に対し方針等を問いました。

紙面の内容は、質問・答弁共に議員自らが要約・執筆、寄稿したものを掲載しています。



高木 正 議員

問 財政の脆弱性に対する、これからの財源確保についてを問う。

答 市長 共同化できる体制を取れる関係を近隣の首長同士が常に持っているということは大事であると思います。

問 持続可能な自治体の醸成のためには物理的、人的、財政的には最早限界である。財政の効率、健全化には、行政の広域化しかないと思う必然的方向性への考え方を問う

答 市長 教育・医療・雇用の三位一体改革による持続可能な地域経営の実現を目指していきます。

問 合併20周年の節目にあたり総括的検証をし、市民生活本位の為の行政の自立と確立、対応への指針を求め、少子高齢化、過疎対策、財政の自立および地域力の醸成について問う

答 市長 教育・医療・雇用の三位一体改革による持続可能な地域経営の実現を目指していきます。

市民生活本位の行政の確立、自立、対応への指針を問う

問 国は防衛予算の拡充の考えであり、行方市は百里基地の周辺市町村として騒音等について国の補償対象地域とされており、積極的に予算の増額を求めるべきと思うが、どうか

答 市長 米軍再編関係の交付金については、時限的のものであるため、引き続き要望をしていきます。

問 ふるさと納税は、現在10億円という目標だが、倍額の20億円を目指すべきではないか。また、その営業努力を期待する

答 市長 全国へ行方市のPRをおこないながら財源確保の努力をしていきます。

問 今、行方市は来年の東関東自動車道の全線開通を控え、大きな転換期となっている。首都圏から70kmしかない地区であるのに未開発地域である。今後の行方市をどのように活性化していくのか、その方向性を問う

答 副市長 行方市単独での取組みには限界があります。県との実効性ある連携等も含めて、関係強化に努めながら取り組んでいきます。県の情報の把握、連絡調整のほか金融機関、大手デベロッパー等とも協議をおこない、実効性ある検討に入りたいと考えています。



宮崎 和洋 議員

市長の公約の「初年度1000日アクション」の進捗の確認

問 公約の初年度1000日アクションの進捗は

答 市長 公約の理念は堅持しつつ、実施時期や手法については段階的・戦略的に進める方針でいます。

問 「農業×商工×水産」三部局横断チームと事業者会議の立ち上げについて、ゴールはどこに設けており、いつ達成するのか。今年1月という中途半端な時期に組織改編を強行し現場を混乱させ市長の方針に合わせたのだから、目に見える成果を上げるべきでは

答 市長 ゴールというのは特に設けておりません。また、年度途中の異動が混乱を与えたとは考えていません。

問 後継者・新規就農マッチング窓口の常設について

答 市長 令和8年度当初から窓口の常設化を図りたいと考えています。

問 機械バンクの試行開始について

答 経済部長 今のところはまだ形になっていません。

答 市長 令和8年度には制度化しスタートして、よりよい形にしていきたいと考えています。

問 北浦複合団地のターゲット業種・優遇メニューの公開について

答 市長 地元雇用の創出や交流人口の増加、地域経済の活性化など、幅広い波及効果が期待できる製造業を第一に優先したいと考えています。

問 霞ヶ浦・北浦再生実証プロジェクトを設計(資金メド:国・県、企業版ふるさと納税等)と公約にあったが、具体的な資金メドの補助金や助成金は何か

答 市長 国・県等の補助を活用したり、あらゆる補助等を活用していきたいという意味で書かせていただいております。環境系の補助事業も、多分メニューとしてあります。いろいろ調査して、一般の皆さんにも使っていただけるような形にしたいです。



伊勢山 仙寿 議員

農業政策について

問 農業者の7割も継承者が決まっていない事について

答 経済部長 7割とは地域計画をつくる段階で取ったアンケートの数字かと思えます。儲かる農業までいかないというところで、若者の農業離れが進んでいるのかと思えます。新規就農などに助成を行うことや、現在の担い手に対するの助成制度をうまく使いながら、農業者の確保などを強く取り組まなければならないと考えています。

問 離農者の農地管理について

答 経済部長 農業協同組合や生産組合、出荷組合などから話を聞ける場や離農の意向が発生したときに土地利用の相談窓口といったものを設けられないか考えていきます。

問 高齢で離農が進んだ場合、

安定的に集荷できなくなるとの不安の声を聞いた。その対策は

答 経済部長 一つの作物を周辺の方々と生産している中で離農される方がいると出荷がままならないお話ですが、JA部会などで話し合いの場が出来れば良いですが、市や農業改良普及センター等が相談の受皿となるよう、普段からのコミュニケーションが大事だと感じています。

問 光ファイバー網の活用について

答 総務部長 本市の光ファイバーは高度なセキュリティとバックアップ構成により災害時の強靭性を保有しています。今後は、これらの特性を生かして、防災対応型エリア放送だけでなく、防災・防犯(カメラ)インフラ整備、行政のDX・業務の効率化、遠隔窓口、例えばオンラインの手続きなどへ活用拡大を想定しています。また、Wi-Fi環境の整備により民間や地域の連携のほか、全ての市民が平等に行政サービスを享受できる基盤として発展・活用させたいと考えています。



阿部 孝太郎 議員

◎ **未来への投資と持続可能な財政運営について（令和8年度予算）**

問 予算の概要と歳入歳出のバランス、持続可能性について

答 市長 人件費、扶助費、公債費といった義務的経費を抑制しながら、財政調整基金の恒常的な取崩しに依存することなく、起債発行についても償還計画を踏まえた計画的な活用を努めます。

問 ふるさと納税減額の原因は

答 企画部長 ふるさと納税は、有利な財源であり、市でも市の特産品を活用した取組を行ってきました。直近2年では、約10億円のふるさと納税の寄附額となりました。しかし、現在の状況を見ると、国の制度の厳格化やポイントの廃止により、かなり厳しい状況が続いております。しかし、市

✔にとつて非常に有効な財源であるため、引き続き努力してまいります。

問 地域医療センターの機能拡充、地域医療の拡充に関する予算配分は

答 市長 地域医療センターの病院機能の回復については、引き続き様々な協議を行っているところです。現時点では、具体的な予算を計上する段階には至っておりません。経過につきましては、議会および市民の皆様には説明していきよう努めてまいります。

問 小学校体育館の空調設備整備事業の内容は

答 教育部長 学校体育館の空調については、令和8年度に市内すべての小学校体育館へ空調設備を整備するための実施設計委託料を予算計上しております。その後、令和9年度に小学校4校を一括して工事を進める予定です。学校ごとに整備時期の差が生じないよう、このような進め方としております。財源は、文部科学省の空調設備整備臨時特例交付金を利用する予定です。

◎ **地域医療**

問 2011年4月より救急車の基準が緩和され、狭隘道路の多い地域や山間地域において軽救急車の導入が開始されている。本市においても実態調査をしていただき、必要に応じて軽救急車の導入を検討していただきたい

答 総務部長 行方消防署の対応としては、場合によっては消防車と小型車両の2台体制で対応するということです。市としても、鹿行広域消防本部や県などと情報を共有しながら、そのような対応を検討していきたいと思っております。

問 医療的ケア児に対する支援を伺う

答 市民福祉部長 人工呼吸器の装着やたん吸引を必要として日常生活を送っていく医療的ケア児は4名把握しています。市外の学校へ通学または自宅へ訪問する訪問教育を受けています。特別児童



高橋 正信 議員

✔扶養手当や障害児福祉手当の支給、車椅子等の補装具やベッド、紙おむつ等自身の状況に応じて給付しています。また訪問看護や訪問入浴サービス、ご家族に対するレスパイトなども行っています。

◎ **農地の活用状況**

問 遊休農地が4357筆418ヘクタールとかなりの面積を有している。この農地の復元、スピード感をもつての対応が大事だ。意識して取り組まれているのか

答 経済部長 農地バンク制度においての10年以上という交付要件を満たしている農地の貸し付けの実績はありませんが、市の単独助成事業、耕作放棄地再生支援事業については、令和6年度10筆2.04ヘクタール204万円の実績があります。令和7年度については、現在までに3件0.78ヘクタールの申請があります。

問 農地の保全、活用に対して市長より所見を伺う

答 市長 耕作放棄地の問題、あるいは担い手不足の問題、あらゆる問題を解消しながら、行方市の農業が持続的に発展していくよう農業者とともに進みたいと考えています。



高野 市郎 議員

人口減少

人口減少について

問 市長 本市の人口は長期的にも減少傾向が続いており、今後とも人口減少と高齢化の進行は避けられない状況であります。一方で、人口の流出を抑制し流入を促進する施策、子育て支援を強化し、出生数の下支えを図る施策、人口減少前提に持続可能なまちを構築する施策等を総合的に取り組む必要があると考えています。

問 企画部長 令和17年の本市の人口は国立社会保障・人口問題研究所によると、2万5千人弱の推計値が出されています。

市有財産の処分

問 市長 市有財産の処分について、住居用地として活用できるような施策の展開を図っていききたいと思います。

霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業について

問 霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業の債務負担行為について

答 企画部長 設計・建設対価と維持管理・運営対価を合わせた限度額19億1千万円とする債務負担行為の設定を令和2年3月議会でご可決いただきました。

問 違約金を払ってでも閉園の価値を検討されてはどうか

答 企画部長 総合的な事を勘案しないと閉園を進めることは難しいです。

前川排水区雨水整備事業

問 前川排水区雨水整備事業の目的は

答 建設部長 浸水被害の解消および現況水路の機能回復を図るため、麻生公民館側を上流に前川を下流側とした総延長1125メートルの排水路整備事業です。

市道(麻)1・17号線

問 市道(麻)1・17号線の進捗状況と今後の見通しについて

答 建設部長 令和8年度には東関東自動車道水戸線の開通に合わせ、潮来行方インターチェンジへの整備と安全対策工事を進める予定です。

問 前川排水区整備事業の中で市道(麻)1・17号線を利用した排水分流は

答 建設部長 現在の国道355号線下に下水道管などがあり堤脚水路に新たな排水設備を接続することは難しいと思われます。



栗原 繁 議員

ふるさと応援寄附金

ふるさと応援寄附金事業の自主財源としての捉え方

答 市長 自主財源として有利な財源であることは承知しています。しかし、将来的に永続的な安定した財源というには、非常に厳しいものがあるかと思っております。ただ、寄附金を集めるために皆さんにいろいろご協力をいただいています。国の規制が厳しくなる中で、返礼品の活用が縮小されていると考えます。そういった問題点、課題も生じておりますので、そのようなところを埋められるように、縮小幅を限りなく狭くしながら、行方市の魅力を発信できる財源となるようこれからも鋭意努力をしてまいります。

行政業務のデジタル化

行政業務のデジタル化、活用事例と今後の展開

答 市長 人口減少、少子高齢化が進行する中においても持続可能な行政サービスを維持向上させるための重要な基盤整備であり、単なるIT化だけではなく、市民サービスの質の向上と持続可能な行政経営の両立を図るための改革であり、その推進は必要不可欠であると考えます。

住民サービスの利便性向上をはじめ、行政内部業務の効率化、データ活用による政策高度化を念頭に引き続き行政のデジタル化を適宜、適切に展開していきたいと考えております。

推進に当たりましては、高齢者等へのデジタルデバイス対策、情報セキュリティの強化、職員のデジタル人材育成、システム標準化への対応といった課題も認識しております。とりわけ市民誰一人取り残さないデジタル化を実現するため、対面サービスとの適切な併用を図りながら、丁寧な支援体制についても併せて構築してまいります。



鈴木 義浩 議員

Q 行方市の財政健全化と今後の財政運営について

問 行方市の財政健全化と今後の財政運営について

答 市長 法律上は健全な水準を維持しています。しかし、本市を取り巻く環境は物価高の長期化に加え、少子化、高齢化の急激な進行と人口減少による過疎化などの厳しさを増しており、将来を見据えれば、決して楽観できる状況ではありません。このような状況下においても、歳入の確保と歳出の構造的な見直しを進め、さらに中長期的な視点を持って企業誘致促進のための補助金の拡充や税制優遇措置による地域活性化と雇用の創出、移住定住促進のための補助や住環境の整備、安心して子供を産み育てられる環境整備、公共交通網の構築、農畜水産業の経営

基盤の強化や生産性向上に資する支援など、過疎抑制施策と快適で暮らしやすいまちづくりへ積極的な措置と持続可能な財政運営のバランスを取りながら市政運営に当たってまいります。

問 物価高騰による労働単価上昇への対応および公共事業や住民サービスの維持をするため、コストの増加をどのように予算へ反映させたのか

答 総務部長 前年度比で人件費が9600万円、委託料として約1億5500万円の増となっております。その影響が顕著に表れている状況です。現在の経済情勢を考慮した場合、予算総額を抑えることは非常に厳しい状況にあります。が、自主財源の確保や事業評価などに伴う事務内容の見直しなどによる事業の選択と集中に、今後継続的に取り組み、将来にわたる安定的な財政運営に努めてまいります。



ON AIR

本会議の様子を「なめがたエリアテレビ」にて、生中継しています。

インターネット（パソコン、スマホ）では、録画中継をしています。現在、平成31年第1回定例会から令和7年第4回定例会までがご覧になれます。令和8年第1回臨時会、第1回定例会も公開しています。



なめがたネット放送局を検索し、市議会録画中継へこれまでの録画中継はこちらから▶



行方市に視察に来訪されました

群馬県太田市議会
市民ファーストの会（3名）

期 日：令和8年1月14日
視察内容：なめがたファーマーズヴィレッジ
（廃校活用）について



令和7年度議員研修会を開催しました

期 日：令和8年1月16日
場 所：行方市役所玉造庁舎
第1会議室
演 題：2026年の世界と日本経済の行方
講 師：武者 陵司 氏



広報委員会から議長へ「市民の声」を提出しました

期日：3月19日 委員長：鈴木 裕

毎号の議会だよりに掲載している「市民の声」（令和7年5月発行分～令和8年2月発行分）を、広報委員会から議長へ提出しました。

この「市民の声」は、議長から各委員会の委員長へと伝え、今後の委員会活動に活かされます。



広報委員会を代表して、鈴木 裕委員長（右）から宮内 守議長（左）へ「市民の声」を提出しました。

予算決算常任委員会

期日：1月7日～8日

委員長：阿部 孝太郎

■地方財政制度の概要及び令和8年度地方財政対策について 及び 過疎対策事業債の制度・現状及び事例紹介について（衆議院第二議員会館）

総務省自治財政局財務調査課より講師を招き研修を行いました。「地方財政制度の概要及び令和8年度地方財政対策について」は、国の施策の方向性や具体的内容の説明を受けました。地方財政は社会保障費の増加やインフラ老朽化など多くの課題に直面する一方、交付税や有利な地方債措置により下支えされていることを再認識しました。本市においても、防災対策や地域経済活性化策などに積極的に活用することで、将来を見据えた持続可能な財政運営につなげていくことが重要であると感じました。「過疎対策事業債の制度・現状及び事例紹介について」は、対象事業の内容や制度を活用する際の留意点などの説明を受けました。過疎対策事業債は、財政基盤の弱い自治体にとって極めて有効な財源であり、ハード・ソフトの両面から地域課題に対応できる柔軟性を有していると感じました。



■AIがもたらす未来 ～人工知能の現在とこれからの社会～（全国市議会議長会主催）

講演では、生成AIの現況として、囲碁などで人間を圧倒する能力がある一方、企業等での導入は限定的である現状が示されました。代表例としてChatGPTが紹介され、誤情報を生む「ハルシネーション」の問題が指摘され、内容の検証が重要とされました。活用法としては、アイデア出しや文章のブラッシュアップに有効であり、人間とAIが共同で作業する形が望ましいとされました。生成AIの行政事務効率化の可能性とリスクを学び、適切な運用ルールとスキル向上が必要であると感じました。



行方市議会運営委員会

期日：1月26日～27日

委員長：土子 浩正

■議会改革の取組及び議会のICT化について（沖縄県糸満市）

糸満市議会は、市政に多様な市民の意思を反映させる目的で「公平、公正かつ真摯な議論」を基本理念とし、令和2年3月に議会基本条例を制定しました。この条例は議会運営の最高規範であり、議会改革を進める上で重要ですが、運用の課題となっていました。現在、一議会改革調査特別委員会で調査・検証を行っている状況でありました。また、議会のICT化については、コロナ禍での人との接触回避や沖縄県内でのタブレット利用状況を踏まえ、ペーパーレス会議の推進が決定されました。この取り組みは紙資料削減や執行部とのペーパーレス化促進に加え、議員の意識改革にもつながったようでした。



■議会改革の取組及び議会のICT化について（沖縄県南風原町）

南風原町議会基本条例に基づき、政務活動費の交付に関する条例の制定や委員会における情報通信機器の試行使用基準の制定など、様々な取り組みを行ってきました。令和5年5月には議会運営委員会で条例の目的達成状況を検討し、議会活性化調査特別委員会を設置して検証作業を現在も行って行っていました。また、議会のICT化については令和3年12月の議員による検討要望書を契機に、議会・議場の環境改善や議会基本条例の運用改善が諮問され、令和5年5月にタブレット導入が決定しました。ペーパーレス化により紙資源や印刷経費削減などの直接的効果のほか、資料持ち運び軽減や閲覧可能な情報の拡充、議員活動の迅速化といった間接的効果を実現しています。全ての議員が常に議会基本条例の基、議会の役割を不断に追及し、精力的に議会改革に取り組んでいる様子がうかがえました。



ちょっとひと言!!

市民の声



皆様のご意見は各委員会に伝え、
今後の市政へと活かしていきます!

安全な通学環境整備を

玉造地区の中学生の通学手段はスクールバスの運行がないので、自転車通学が唯一の通学手段です。国道355号線、354号線の歩道を利用し通学をしていますが、その歩道は雑草だらけで樹木も繁っており避けながら通学をしています。生徒たちが大変苦勞しています。市民も歩道に雑草だらけの通学に支障をきたしていると感じていますが、なかなか声を上げられません。役所、教育委員会でも定期的に巡回し、道路管理者へ維持管理の徹底をして頂けるよう要望し、通学環境を良くして事故の未然防止をして下さい。(50代女性)



国道355号線の歩道 (R8.4月上旬撮影)

国道355号線麻生中学校行き交差点について

当該交差点の信号機は支線側の車の有無にかかわらず、青黄赤を繰り返している状況である。本線が赤信号の時の支線からの交差点への進入車が有ったり無かったりしている。特に本線が赤で停止中に支線からの進入車が、1台もない時が結構あり『相互交通』の良さが出ていない。この状態では信号無視車が出てしまうので、当局には感知式信号機の設置を願うのは私以外にもいると思う。(60代男性)

地元に残りたいと思えるまちへ

このまちで暮らし続けたい気持ちはありますが、仕事の選択肢や子育て環境を考えると、将来に不安を感じることもあります。周りでも進学や就職を機に地元を離れる人が多く、このままでいいのかと感じる場面があります。日々の生活でも、買い物や医療、移動の面で不便さを感じることもあり、将来への不安につながっています。若い世代が安心して暮らし続けられる環境づくりを進め、地元に残りたいと思えるまちになってほしいです。(30代女性)

議会トピックス

❗ 行方市議会情報を、市公式ホームページに掲載しています。ホームページでは、過去の市議会だよりも見ることができます。
(<https://www.city.namegata.ibaraki.jp/>)



次の定例会は「令和8年 第2回 定例会」
6月1日(月) 開会の予定です。

〇詳細は、市議会ホームページでご案内しています。

(<https://www.city.namegata.ibaraki.jp/page/dir000067.html>)



〇ご不明な点は、議会事務局(☎0299-55-0111)へお問い合わせください。

広報委員会

委員長 鈴木 裕
副委員長 宮崎 和洋
委員 岡田 晴雄
// 貝塚 俊幸
// 阿部 孝太郎
// 高野 市郎

議会だよりの
ご意見・ご感想を
お待ちしております。



～議会日誌～

1月

- 7日～8日 予算決算常任委員会行政視察
- 9日 広報委員会
- 14日 行政視察受入(群馬県太田市)
- 16日 議員研修会
- 21日 議会運営委員会 全員協議会
- 26日～27日 議会運営委員会行政視察
- 30日 議会運営委員会
第1回臨時会
経済建設委員会 予算決算常任委員会
全員協議会

2月

- 5日 百里基地・茨城空港対策特別委員会
- 9日 議会運営委員会
- 10日 全員協議会
- 19日 議会運営委員会
令和8年第1回定例会(開会)
広報委員会
- 24日 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 26日 本会議(一般質問)
議会運営委員会 全員協議会

3月

- 2日 本会議
議会運営委員会 全員協議会
- 3日 総務委員会
- 4日 教育厚生委員会
- 6日 経済建設委員会
- 9日 予算決算常任委員会
- 11日～12日 予算決算常任委員会
- 13日 予算決算常任委員会 全員協議会
- 19日 議会運営委員会
令和8年第1回定例会(閉会)
全員協議会